



まちの話題



レーンごとに分かれて接種が行われた会場

マイギリ式の火起こしで採火に挑戦する及川会長

町でのワクチン集団接種開始 コロナの早期収束へ

町の新型コロナウイルスワクチンの集団接種が9月5日、中央生涯教育センターで行われました。この日はワクチン接種を希望する50～59歳（基礎疾患のない人）の人を対象にワクチン接種が行われ、664人が接種を受けました。ワクチン接種を受けた千田秀喜さん（谷地上）は、「接種は思っていたほど痛くなかった。接種はコロナにかからないための第一歩。一安心した」と笑顔を見せました。



パラリンピック採火 金ケ崎の火を東京へ

パラリンピック採火が8月16日、中央生涯教育センター駐車場で行われました。県内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県独自の緊急事態宣言が8月12日に発出されたことに伴い、当初予定していた採火式を中止し、関係者のみで採火を行いました。出席した町身体障害者福祉協会の及川満幸会長は「障がいのある人たちが、私もやってみてみたい、応援したいと思えるような大会になってほしい」と願いを込めました。

町戦没者追悼式 戦後76年 戦没者の冥福願う

町戦没者追悼式が8月6日、中央生涯教育センターで行われました。参列者は、日清、日露、太平洋戦争で犠牲となった町内の戦没者を追悼し、恒久平和を誓いました。町遺族連合会千田力会長は「戦争の記憶を風化させることなく平和の尊さを次世代に語り継ぐ」と追悼の言葉を述べました。



犠牲となった町内の戦没者429柱を弔い、献花を捧げる千田会長

募金を寄託する氏家富士子委員長（中央）と鈴木田鶴子副委員長（左）



1 令和3年7月大雨災害義援金を寄託 日も早い復興を祈って

町赤十字奉仕団は8月18日、7月に静岡県などで発生した大雨災害の被災者支援のため町内で募った義援金計4万1,400円を、日本赤十字社県支部金ケ崎分区（高橋由一分区長）に寄託しました。寄託された義援金は後日、日本赤十字社に送金されました。

個性あふれる研究成果を発表 金ケ崎高校2年生課題研究発表会

金ケ崎高校の2年生による課題研究発表会が8月24日、同校で行われました。「総合的な探求の時間」を活用し、生徒一人ひとりが研究テーマを設定。大学や企業等への取材などを経て得た発見や考察を発表しました。課題研究は今後も行われ、生徒はさらなる研究に意欲を見せました。



個性あふれる同級生の発表に、真剣に耳を傾ける生徒たち

映し出された応募作品を審査する審査委員



応募作品が夏を盛り上げる 金ケ崎リモート夏まつり審査会

リモート夏まつり審査会は8月30日、町商工会で行われ、町内外から応募された17作品6部門について審査を行いました。高杉郁也審査委員長（町観光協会会長）は「どの作品もすごく準備してきたのが伝わった」と話していました。なお、応募作品は動画配信サイトYouTubeの同協会チャンネルで配信しています。